

重油と同等の熱量を発する木材二次燃焼バイオマス熱風炉

概要・品質・性能	<p>間伐材・解体材などの密度の高い木材を二次燃焼することで燃焼効率を向上させたバイオマス熱風炉。炉内には2分割した二次燃焼室が設けられ、一次燃焼室で発生した燃焼ガスが送り込まれて濃縮される。2分割した仕切り壁から出るこの濃縮ガスに強制的にエアを補給し二次燃焼させる。出口温度1,200℃の高温が連続して得られる。無煙・無臭で残灰も0.4%と少なく、重油を100ℓ/h使用すると同等の熱量が連続供給できる。燃焼空気量や木材の投入量を自動制御することで温度調整も可能。重油100ℓ/h使用の場合、1年間の重油コストで設備を新設できる。特に解体材のみを使用すれば燃料コストは重油の2割程度で済む。</p>	<p style="text-align: center;">石油に替わる木材バイオエネルギー</p>  <p style="text-align: center;">(燃焼炉60万Kcal) (出口温度1,250℃以上)</p>
用途	<p>① 園芸培土、下水道の汚泥乾燥 ② 石灰の製造、食品残渣の飼料や肥料の製造工程におけるキルンの代替え</p>	<p>技術移転</p> <p>形態 特許実施権供与、共同研究開発、生産委託</p> <p>相手先 重油を100ℓ/h使用する企業及び築炉関連企業</p> <p>地域 国内に限る</p>
実用化・情報	<p>[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 無し [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等 [情報提供者] HARADA 代表者 原田 勝吉 [連絡先] りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>実用新案登録 実案登録番号：実用新案登録第3174493号 登録日：平成24年2月29日 実用新案権者：原田 勝吉 考案の名称：燃焼装置</p>